



Vol.4

渡す、受け取る、そして続ける 事業承継事例集

中小企業にとって、事業承継は重要な経営課題です。
承継する内容や方法は企業によって様々で、それぞれに合わせた対策が必要となります。
この冊子では、これまでに佐賀県内で行われた事業承継の事例をご紹介します。

事例・1



腕の確かな鉄工所に吹いた、後継者による新しい風
有限会社 久保工業 (武雄市若木町)

事例・2



独立する勇気を与えてくれた、今までのお客さまとの絆
ユリ美容室 (佐賀市大和町)

事例・3



地元の人々に愛されてきた、こだわりの海の幸とお酒
酒菜 志波 (佐賀市久保田町)

事例・4



3人の豊かな個性が生み出す、独特の技法による器たち
艸窯 (西松浦郡有田町)

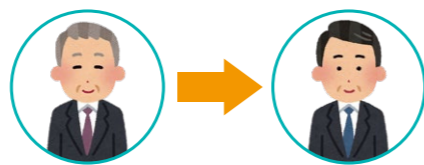
事例・5



父の背中が教えてくれた、満足をお届けするおもてなし
つかさ旅館 (佐賀市富士町)


事例・その1

- M&A(第三者承継)
- 従業員承継
- 親族承継




腕の確かな鉄工所に吹いた、後継者による新しい風

1996年創業。鋼板溶接を始め、地盤掘削ドリルなど特殊金属の溶接を行う。近年では、大手メーカーからの発注により、ポンプ設置のための架台なども製作している。現在、高い技術を持つ5名の社員が常勤。




有限会社
久保工業



譲渡側

久保 喜一さん
前代表



譲受側

鐘ヶ江 秀樹さん
現代表

■ 事業承継を行った時期 …………… 2021年11月

■ 事業承継の内容 …………… 第三者承継(事業譲渡)

譲渡側 前代表：久保 喜一さん (67歳 ※承継時)

不安を一人で抱え込まずに 時には助けを求めたりしながら 進めばいいんです

—— 創業時の思いをお聞かせください

創業時は、金属加工も営業もすべて私一人で行っておりました。その後徐々に売上が伸び、従業員を雇用できるまでになりましたので、それからは従業員への技術指導を行い、会社全体のスキルを向上させることに努めてきました。



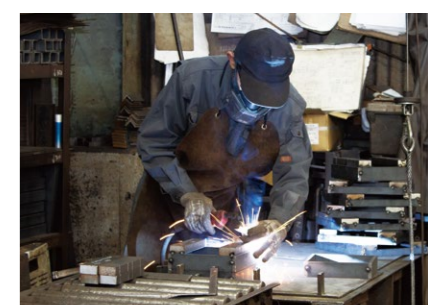
久保 喜一さん

—— 具体的な事業承継の流れをお聞かせください

私に子どもがいないこともあって創業時から分かってきたことではあるのですが、身を引く時は第三者に引継いでもらうか廃業するかを選択肢しかありませんでした。2019年ごろから引継ぎを考え始めまして、一時は従業員に引継いでもらうことも検討したのですが、経営者として事業をやりたいという者がおりませんでしたので、では第三者に引継いでいただくということになりました。ですが、どうやって後継者を探せばいいのか、どのように承継を進めていけばいいのか、どれくらいの期間が必要となるのか、など何も分からない状態でしたので、まず商工会議所にご相談いたしました。その後、事業承継・引継ぎ支援センターをご紹介いただき、担当者の方から承継の進め方や留意点などをお聞きして、少しずつ行動を起こし始めました。そんな中、後継者不在で悩んでいることを取引先に相談したところ、適任の方をご紹介いただきました。その後、何度か話し合いを重ねた結果、無事に後継者が決まりました。

—— 事業承継について不安な点はありましたか

もちろんたくさんありました。日常の作業に関しては、従業員が自ら考え質の良い仕事をしてきていましたので安心しておりましたが、環境が変化していく中での経営の方針決定や取引先との関係の維持、今後の業績などに関しては多少不安に思うことはありました。



—— 後継者に対する思いをお聞かせください

私も会社を始めた頃は不安だらけでしたが、従業員や取引先などいろいろな方々に助けられながら成長することができました。不安を一人で抱え込まずに、時には相談したり助けを求めたりしながら進めばいいんです。

—— 承継を控えている方へアドバイスをお願いします

歳を取ると、健康への不安が生じたり事業への士気が低下することもあります。会社の舵取りに不安が出てきた時は、事業を承継することを前向きに考えていただきたいと思います。

譲受側 現代表：鐘ヶ江 秀樹さん (49歳 ※承継時)

積極的に変化を受け入れて 自発的に対応する企業風土を 根付かせていきたい

—— 承継のお話をお聞きになった時の率直な感想は

以前よりお仕事を通じて久保社長と面識はありましたが、自分が後継者として久保工業の社長になるとは夢にも思っておりませんでした。さらに、引継ぐということが決まってからも、これまで築いて来られた企業としての価値があるとはいえ、今後これまでと同じような経営を続けることができるのか、従業員にこれまで通りの生活を送ってもらえるのか、など後継者として経営を任されるにあたっての心配事はたくさんありました。ですが、今回の機会は自分を成長させてくれる大きなチャンスだと思い、引継ぐことを決心いたしました。

—— 経営者になって感じたことや将来の夢は

まだ引継いで間もない時期ですので、従業員にこれまでの仕事の進め方が浸透しきっていて、私が思う新しい進め方が受け入れられにくくなっていると感じることは少なからずあります。ですが、これまで久保社長が掲げてこられた経営方針や築いてこられた企業の風土と、後継者である私の考え方や方針などに違いが出るということは、経営者が違う人間になったのですから、それはむしろ自然なことだと思っています。多少時間はかかるかもしれませんが、後継者としての自覚を強く持ち、積極的に変化を受け入れて自発的に対応する企業風土を根付かせていきたいです。

聞き手からのひとこと

前社長は現在でも時々工場に顔を出されますが、口出しせず、冗談を言ってすぐ帰られるそうです。心配のあまり頻りに口を出す方も多い中、程よい距離感で後継者を見守る姿勢は素晴らしいと思いました。

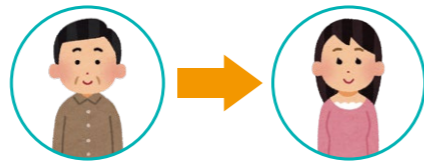
中小企業診断士 伊藤 公尊



鐘ヶ江 秀樹さん




- M&A (第三者承継)
- 従業員承継
- 親族承継




独立する勇気を与えてくれた、 今までのお客さまとの絆

1992年創業。長年地域に愛されながら、カットやパーマ、スタイリングから、婚礼や成人式の着付けなども行っている。2018年、創業の地に新築されたビルの1階にてリニューアル、新たな顧客も獲得している。




Yuri

ユリ美容室
〒840-0201 佐賀県佐賀市大和町尼寺860
電話 0952-62-0258



譲渡側

杠 哲也さん
有限会社グラニオン 代表取締役



譲受側

中村 和子さん
ユリ美容室 代表

■ 事業承継を行った時期 …………… 2022年10月

■ 事業承継の内容 …… 従業員承継 (美容室店舗の事業譲渡)

譲渡側 有限会社グラニオン
代表取締役：杠 哲也さん (57歳 ※承継時)

引継ぎたいと思ってもらえるよう 会社の価値を高めていく意識が 必要だと思います

— 貴社の強みや事業への想いをお聞かせください

ユリ美容室は祖父母が佐賀市大和で創業し、以来60年以上続いている美容室です。お客さまの思いをくんだヘアスタイルの提案はもちろん、ご婚礼や成人式時の着付けに至るまで、満足いただけるようなサービスの提供を心がけてやってまいりました。



杠 哲也さん

— 事業承継について考え始められた時期と理由は

弊社は、今回承継した当店を含め、美容室を3店舗運営しておりましたが、2021年、美容室経営で培った技術運営の経験と顧客資産を活かして、新たに訪問看護事業を立ち上げることになりました。その訪問看護事業へ経営資源を集中させる必要が生じまして、当店について従業員承継を検討するに至りました。

— 後継者を決定する際の決め手は何でしたか

後継者は、入社から20年以上に渡り、弊社の運営を支えてくれていました。技術の面はもちろんですが、お客さまからの高い信頼も得ており、当店を引き継ぐ器量は十分にあると考えていましたので、承継について打診をいたしました。

しかしながら、経営者となれば今までの従業員の立場とは違い、これまでになかった負担も増えることとなります。そこで、後継者の意志も尊重しながら、時間をかけて事業承継の話し合いを進めていくことになりました。

その後、よろず支援センターや佐賀県事業承継・引継ぎ支援センターの方にご相談いたしまして、承継に関する課題解決や事業計画書の作成などについてのアドバイスをいただきました。当初からの課題であった経営面での承継について両センターから力強くサポートいただきまして、無事2022年10月に承継を完了することができました。

— 承継を考えている方へアドバイスをお願いします



経営者には、親族承継であっても、従業員承継であっても、その会社を引継ぎたいと思ってもらえるよう、その価値を高めていくという意識が必要だと思っています。そして、会社を背負うこととなる後継者候補としっかりと話し合いをし、本人の意志を尊重した上で、時間をかけて進めていくことが大切だと感じました。

譲受側 ユリ美容室 代表：中村 和子さん

今までのお客さまを そのまま引継げたことは 開業する上で心強かったです

— 承継のお話をお聞きになった時の率直な感想は

20年間当店に勤めておりましたので安心感がありましたが、経営者になることへの不安は大きかったです。ですが、社長やスタッフとお客さまとの長く良い関係を築き上げて来たという自負はありましたので、次第に引継いで頑張りたいという気持ちが固まっていきました。

— 引継ぐ決心をされたきっかけは

それまで店舗の顧客管理などは任されていたのですが、経理など数字に対する知識経験が少なかったこともあり、最終的に決断するまでに数ヶ月かかりました。また、よろず支援センターの相談員の方が親身に対応くださったことが、創業するための大きな支えになりました。

— 引継いだ当時困ったことなどありましたか

長年お世話になった店舗を引継がせていただいたので、特に困ったことはありませんでした。美容室をゼロから開業するとなると相応の初期投資も必要になります

し、何と云っても今までのお客さまをそのまま引継げたことは開業する上で心強かったです。

— 後継者として当事業への想いをお聞かせください

当店は歴史が長く、地域のお客さまに多くご利用いただいています。今までのお客さま、新たなお客さまを大切に、これからも長く続けていきたいです。

— 今後の展望や夢をお聞かせください

当店のコンセプトを大切にしながら、新たな技術習得、サービス導入に取り組みたいです。よりお客さまに喜んでいただけるように、質の高いヘッドスパやリラクゼーションのサービスなども提供していけたらと思います。

聞き手からのひとこと

杠社長と中村さんの間にお互いへの強い信頼があるからこそ、今回の承継が成立できたのだと思います。お話を伺う中で、明るさや優しさに魅かれるお客様も多いのではと感じたお二人でした。

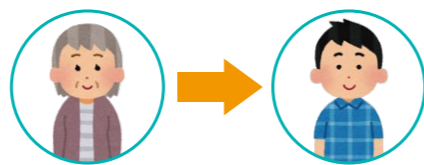
中小企業診断士 小峰 研



中村 和子さん





- M&A (第三者承継)
- 従業員承継
- 親族承継



地元の人々に愛されてきた、 こだわりの海の幸とお酒

百年以上続く老舗の酒屋をルーツとする。その後、鮮魚店も始め、仕出しなどを手掛ける。新鮮な海の幸を使った料理が高く評価され、ミシュランガイド福岡・佐賀 2014特別版にて一つ星を獲得。

 <p>酒菜 志波 (さかなしわ) 〒849-0201 佐賀県佐賀市久保田町徳万499-1 電話 0952-68-2063 Web https://fazh100.gorp.jp/</p>		譲渡側	譲受側
		志波 明子さん 前代表	志波 啓太さん 現代表
		■ 事業承継を行った時期 …………… 2023年1月	■ 事業承継の内容 …………… 親族承継

譲渡側 前代表：志波 明子さん (76歳 ※承継時)

大変な状況での引継ぎですが 試行錯誤を繰り返しながら 前に進んでもらいたい

—— 貴社の強みや特長をお聞かせください

100年以上前に志波酒店として開業したのが当店の始まりです。その後、酒屋に来られるお客さまに美味しい鮮魚をご提供するために魚屋となり、その後、周辺住民の皆さんが宴会などで集える場所として飲食店を併設し、2000年に現在の酒菜 志波へと名称を変更し開業い



志波 明子さん

たしました。店主は魚市場の競りに参加できる権利を持っており、毎日早朝5時30分に市場に出向き、料理人の厳しい目で有明海や玄界灘で水揚げされた新鮮な魚介類を仕入れております。そのため、おいしい魚料理と厳選したお酒がお客さまから好評をいただいております。おかげさまで2014年のミシュランガイドで一つ星を獲得させていただきました。

—— 事業承継をお考えになった理由は

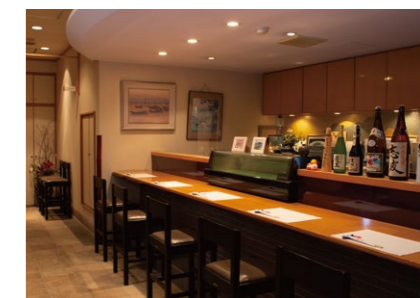
私も70才を過ぎ、事業を継続することが体力的にきつくなり、2020年ごろから承継を考え始めました。私には子供が4人おりますが、これまで長男に手伝ってもらいながら店を継続してきました。長男は、お客さまに喜んでいただける料理を提供するために、一生懸命日々料理を研究し頑張ってくれていましたので、ぜひ事業を引継いでもらいたいと思っていました。

—— 事業承継するにあたり不安なことはありますか

新型コロナウイルスの感染拡大のため、3年前から宴会などが激減し、経営も厳しくなっています。この状況下で事業承継を行うのは、やはり不安ですね。

—— 後継者に対する思いをお聞かせください

先代から続いてきた店を息子が継いでくれることはすごくうれしく思っています。コロナ禍で大変だとは思いますが、試行錯誤を繰り返しながら一步一步前に進んでもらいたいです。



—— 承継を控えている経営者へアドバイスを

地元の商工会や事業承継・引継ぎ支援センターにご支援いただき、承継に関するだけでなく、事業の改善などについても様々な相談をすることができ、とても助かりました。これまで家族で力を合わせてやってまいりましたが、承継や経営環境の悪化など想定外のことが起きた時に、すぐに相談できる場所があるということはとても大切なことだと感じています。

譲受側 現代表：志波 啓太さん (49歳 ※承継時)

足を運んでくださるお客さまの ご期待にお応えできるよう 精進していきたい

—— 引継ぎのお話をお聞きになったときの感想は

以前は別の飲食店に勤めておりましたが、2000年の酒菜 志波の開業時に家業を手伝っていくことを決意しました。以来20数年にわたって調理や接客を担当し、経営の一角を担いながら両親を支えてきました。そして、高齢になっていく親を見るうちに、この店を継ごうという気持ちが次第に湧いてきました。

—— 後継者としての、当事業への思いは

私は、幼い頃から料理を作る母の姿を見ながら育ち、店が忙しい時は手伝いをしてきました。

店を手伝っている時の楽しみは料理の試食です。新鮮な魚や作りたての料理を食べさせてもらい「母が作る料理はどれもおいしいな」と味わっていたことをよく覚えています。そうした子どもの頃からの体験の積み重ねで自

然と料理人を目指し、やがてこの店を継ごうと思うようになりました。

—— 今後の展望や夢をお聞かせください

先代から受け継いだこの店は、幾度となく訪れる苦境に苦しみながらも、そのたびに知恵と工夫でそれを乗り越えて現在に至っています。

私が承継した現在においても、新型コロナウイルス感染症は未だ収まっておらず、順風ではない経営状況の中ではありますが、足を運んでくださるお客さまがいる限り、ご期待にお応えできるようこれからも精進していきたいと思っています。

聞き手からのひとこと

コロナ禍での承継は一大決心だったと思いますが、先代も変化を受け入れ新たなことにチャレンジすることで苦難を乗り越えることができたのだと思います。これからの新生「酒菜志波」に期待したいです。

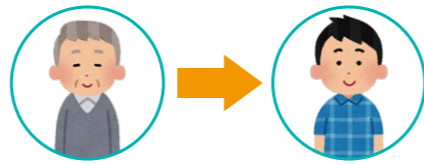
中小企業診断士 伊藤 公尊



志波 啓太さん

事例・その 4

- M&A (第三者承継)
- 従業員承継
- 親族承継



3人の豊かな個性が生み出す、 独特の技法による器たち

1984年有田町にて創業。色付きの粘土を細かく組み合わせて作る全国でも珍しい技法、「練り上げ技法」による作陶が特長。陶磁器の製造販売はもちろん、全国での個展の開催や、ワークショップなども行っている。

SOUGAMA



艸窯 (そうがま)
〒844-0002 佐賀県西松浦郡有田町中樽2-28-14
電話 0955-42-3846 Web <https://www.sougama.net/>

譲渡側

草場 勇次さん
前代表

譲受側

草場 瑛人さん
現代表

- 事業承継を行った時期 …………… 2022年10月
- 事業承継の内容 …………… 親族承継

譲渡側 前代表：草場 勇次さん (67歳 ※承継時)

東京から有田に戻って 私たちの技法を継ぎたいという 息子の言葉が嬉しかった

— 貴社の強みや特長をお聞かせください

陶磁器の町、有田町で創業し50年となります。全国でも数少ない「練り上げ技法」を使った陶磁器の製造・販売を行っています。個展等も東京、大阪など全国で行っています。2022年度よりもっと多くのお客様に艸窯を知っていただくため、オンラインワークショップ会場を新設



草場 奈美子さん

草場 勇次さん

し、息子を中心とした新事業展開も行っています。

— 事業承継について考え始められた時期は

私の体調が悪化した7年前(60歳)の頃です。当時息子は東京で別の仕事をしておりまして、私としてはやりたい事を続けてほしいと思っておりました。それでも、有田に戻って練り上げ技法を使った作品を作りたいと言ってくれた時は、とても嬉しかったのを今でも覚えています。

— 事業承継をお考えになった理由は

「練り上げ技法の作品を作り続けたい」と言ってくれた息子の決意を、無駄にしたいと考え始めました。有田焼の特長を生かした練り上げは「唯一無二」であることを大切に守っていく、という意義を感じていたからです。

— 事業承継を決断された際の決め手は何でしたか

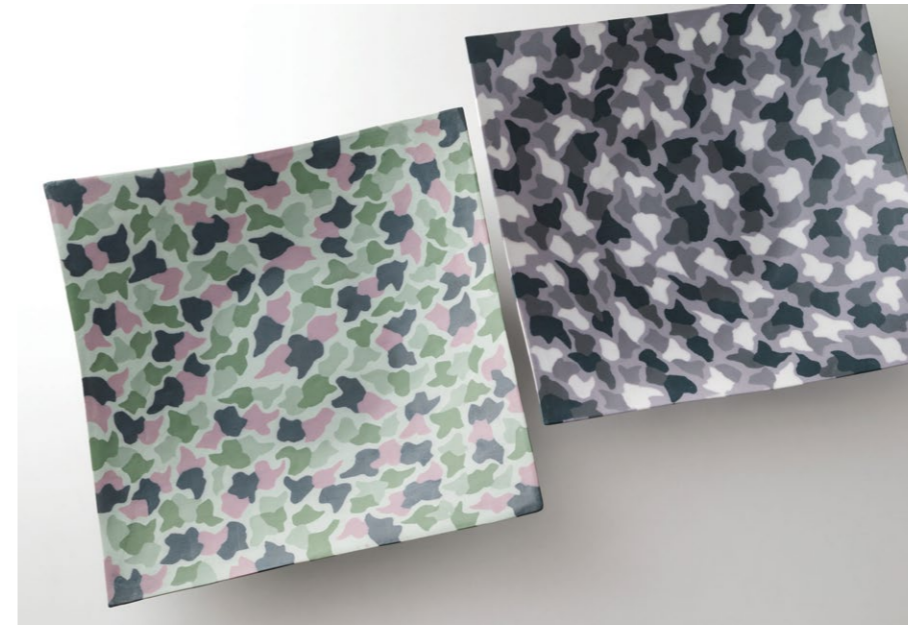
息子が有田に戻ってからの数年でしっかりと経験を重ねたことで、彼独自の顧客と販路開拓が確立され、制作の面においても、彼自身の個性溢れる作品が顧客に認知され、人気を得ている手応えを得ることができたからです。

— 承継後、こうすればよかったと思われることは

技術面はもちろんなのですが、財務、経理面の経験も少しずつ分担しておけば良かったかな、とは思っています。親子3人全員が作り手でもありますので、時間の捻出がなかなか難しく、仕方がない部分はありましたが。

— 承継を控えている経営者へアドバイスを

親族内承継の場合、やはり会話、コミュニケーションが



重要です。お互いの気持ちを話しながら、今後の事業ビジョンをしっかり決めていくことが大切だと思います。

譲受側 現代表：草場 瑛人さん (40歳 ※承継時)

親子3人で作品を作ることで 私たちの技法を広めながら 有田にも貢献していきたい

— 引継ぎのお話をお聞きになったときの感想は

今まで両親が築きあげてきたブランドを自分も作り上げる事が出来るのか、など不安な点は多々ありました。

— 引継ぎ決心をされたきっかけは何ですか

私が33歳の時に父が体調不良になったのがいちばん大きなきっかけです。当時デザイン関係の仕事をしてた事もあって、ゼロから何かを作り上げるモノづくりに興味がありました。

— 引継いだ当時困ったことなどありましたか

「技術面」に対しては経験を積むことで自信も出てきましたが、経営に欠かせない「計数管理面」においてはまだまだ不安な部分が大きいです。引継ぎ後、事業の維持や成長の為にはしっかりとした数値管理を行い、収益と費用のバランス等も考慮することが重要だと感じ、支援機関の協力も仰ぎながら日々学んでいます。

— 後継者としての、当事業への思いは

経営者として、作品を作り、多くのお客様に購入していただくだけではなく、技術の進歩や発展、人材育成、新規顧客の開拓など様々な事を考える必要があると思います。登記上の本格的な承継は2024年4月を予定してお

りますが、これから両親の今までの経験や知識・技術力を活かしながら、そこに自身の新しいカラーも併せることで事業の成長に繋げていきたいと考えています。

— 今後の展望や夢をお聞かせください

まずは艸窯ブランドである「練り上げ技法」をもっと多くの人に知ってもらいたいです。そのための施策のひとつとして、2022年1月からオンラインで行う陶磁器ワークショップなどの新事業を始めました。さらに、われわれ艸窯だけではなく、有田全体の産業発展に寄与していきたいと考えています。そのためにも、親子3人各々の個性を発揮した作品を作り続け、全国のお客様に喜んでいただけるよう、これからも日々頑張っていくつもりです。

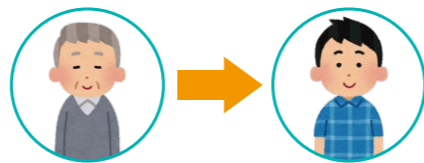
聞き手からのひとこと

艸窯さんの事業承継がスムーズに進んだのは、早い段階から後継者を決めて技術の承継を行なわれたこと、また、親子間のコミュニケーションをしっかり取っていらったことが要因だと感じました。

中小企業診断士 武下 浩一郎



草場 瑛人さん



父の背中が教えてくれた、満足をお届けするおもてなし

1963年創業。佐賀でも有数の温泉地として知られる古湯に位置する、源泉100%掛け流しの温泉と、素材にこだわった食事が自慢の宿。2017年には客室を大幅にリニューアル、若い客層にも人気の宿となっている。

古湯温泉 つかさ
Tukasa ryokan

古湯温泉 つかさ旅館
〒840-0501 佐賀県佐賀市富士町大字古湯865
電話 0952-58-2211 FAX 0952-58-2708
Web <https://tsukasa-ryokan.com/>

譲渡側

貝野 司さん
前代表

譲受側

貝野 光さん
現代表

■ 事業承継を行った時期 …………… 2022年4月

■ 事業承継の内容 …………… 親族承継

譲渡側 前代表：貝野 司さん (71歳 ※承継時)

自分なりにやってみながら、経営を覚えていってほしい。失敗もまた勉強です

—— 貴社の強みや事業への想いをお聞かせください

古湯は、以前は若い女性にに来ていただけるような所ではありませんでしたが、来客層も時代とともに変わって参りました。当然、お迎える私どもも料理やサービスに力を入れ、時代にに応じて変わって行く必要があります。顧客のニーズに対応し、価格に見合うサービスを提供する



貝野 司さん

ことが大事だと考えております。

—— 事業承継をお考えになった理由は

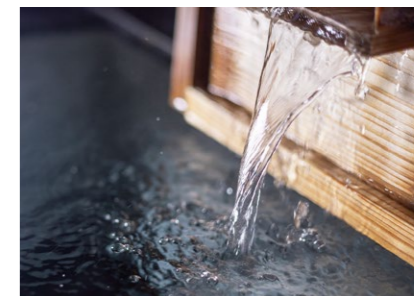
承継を考え始めたのは、息子（現経営者）がその意思を示した時からです。私も70代になり心身の衰えも感じておりましたので、そろそろという感じはありました。

私が先代から旅館を承継した頃は、家族経営ということもあって自分の時間を作ることができず、子供の学校行事などには行くことができませんでした。家族はもちろん、私自身にとっても苦勞の多い日々であったこともあり、自分の代で畳むことも考えておりました。

そんな中、息子が承継の意思を示してくれたのですが、新型コロナの影響が長引いてしまい、承継のタイミングをずっと迷っておりました。ですが、2021年の11月に個室の食事スペースを作り、安心して料理を提供できるようになりましたので、新型コロナへの対応については自分にできることが一区切りついたと感じ、承継するなら今かなと思いました。

—— 承継を考えている方へアドバイスをお願いします

親子だからこそ言いにくいということもあるのですが、私は退いたら口は出さなかつもりです。私は自分が承継した時に、教えられることと実際やることは全く違うということを感じました。事前に色々教えたところで、その立場にならないと分からないこともたくさんあります。息子には、私もそうだったように自分なりにやっ



てみて、経営を肌で感じながら覚えていってほしいです。失敗することもあるかもしれませんが、それもまた勉強だと思っています。

譲受側 現代表：貝野 光さん (37歳 ※承継時)

タイミングには驚きましたが、承継する気持ちはあったのでここはやるしかない

—— 承継のお話をお聞きになった時の率直な感想は

旅館を承継したいという気持ちは父に伝えておりましたが、承継する年の2月くらいに「4月からはお前の代だ」と言われて、今?というのが正直な気持ちでした。これといった準備もできていない状況でもあり驚きはしましたが、承継する気持ちは変わらずありましたので、ここはやるしかないと心を決めました。

—— 引継ぐ決心をされたきっかけは何ですか

親は私が幼い頃から毎日忙しそうで、学校行事にも来てもらえないことなど当たり前だったのですが、旅館に来てくださったお客さまにはいつも笑顔で過ごしていただいていた記憶があります。私は子供の頃から料理に興味を持ち、自分なりに調理をしてきましたが、やはりお客様に美味しいと言ってもらえた時はこの上ない喜びを感じます。そのような経験を重ねるうちに、自分も親と同じようにお客様に喜んでいただけるサービスを提供できるようになりたいと思うようになり、この道に進もうと決意しました。

—— 引継いだ当時困ったことなどありましたか

正直困っていることだらけです。経営についてはまだ右も左もわからない状況ですので、支援機関にご相談し、日々アドバイスをいただいています。

—— 今後の展望や夢をお聞かせください

もっとたくさんのお客さまにこの旅館を知っていただきたいですし、満足度も上げていきたいです。お客さまから感謝のお手紙をいただくこともありまして、そういった評価をいただけることは素直にうれしく思います。

近年の古湯は若いお客さまも増え、客層の広がりを感じています。もちろん、これまで常連のお客さまも多くいらっしゃいますので、これからはそれぞれの客層に合わせたニーズに対応していきたいと思っています。

聞き手からのひとこと

急な事業承継のようで実はタイミングを見計らっていた司さん。驚きながらも前を向いて踏ん張る光さん。両者がそれぞれの形で旅館とお客さまのことを想い、経営について模索していることが印象的でした。

中小企業診断士 江口 健二郎



貝野 光さん



佐賀県

佐賀県内では、以下の支援機関が事業承継のお手伝いをしています。
いずれもご相談は無料です。

親族承継・従業員承継・第三者承継に関するお問い合わせ

佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター TEL:0952-27-7071

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル4階 ●E-mail bsnw@saga-hikitsugi.go.jp
●WEB <http://www.saga-hikitsugi.go.jp> ●FAX 0952-26-6911 ●営業時間 平日 9:00~17:00

事業承継についてのお問い合わせ

佐賀県 産業労働部 産業政策課 TEL:0952-25-7182

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1-59
●E-mail sangyouseisaku@pref.saga.lg.jp ●FAX 0952-25-7270 ●営業時間 平日 8:30~17:15